

回答期間：2025 年 7 月 1 日 ～ 2025 年 8 月 31 日

福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」登録団体アンケート（2025 年度）

いつもあすみんをご利用いただきありがとうございます。

このアンケートは、登録団体の皆様の活動実態をお聞きし、今後のあすみんの事業運営・講座等に活かすためのものです。

任意の調査ですが趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

集計結果については、公式 HP 等での公開を予定しています。

設問内容に不明な点がございましたら、あすみんまでお問い合わせください。

※特に指定のない質問については、**2025 年 7 月 1 日時点**の状況でご回答してください。

※フォームからもご回答いただけます。あすみんホームページにも URL を掲載しています。

〈フォーム URL：<https://business.form-mailer.jp/fms/7f2703f3294187>〉

右の二次元バーコードからもフォームへのアクセスが可能です。

フォームからご回答いただく場合は、更新申請前に回答を完了してください。



（所要時間：およそ 15 分）

貴団体の概要についてご記入をお願いします。

回答は□に✓を入れてください。必要箇所では、枠内にご記入をお願いします。

登録番号		団体名	
記入者氏名		連絡先 (TEL またはメール)	
法人設立時期	年 月 ※法人は法人格取得時期、任意団体は設立時期をご記入ください		
事務所の所在地	☐ 東区 ☐ 博多区 ☐ 中央区 ☐ 南区 ☐ 城南区 ☐ 早良区 ☐ 西区 ☐ 福岡市外（ 県 市・町・村）		
代表者の年代	☐ 10 代 ☐ 20 代 ☐ 30 代 ☐ 40 代 ☐ 50 代 ☐ 60 代 ☐ 70 代以上		
組織形態	☐ 特定非営利活動法人 ☐ 認定・特例認定特定非営利活動法人 ☐ ボランティア・任意団体 ☐ 一般社団法人 ☐ 一般財団法人 ☐ 公益社団法人 ☐ 公益財団法人 ☐ 社会福祉法人 ☐ その他（ ）		

《活動分野》

Q1-1. 貴団体が日頃から取り組んでいる活動の分野について、該当する分野の「活動分野」の欄に当てはまるものすべてに○をつけてください。また、そのうち、主な活動分野を1つ選択し「主な活動分野」の欄に○をつけてください。

	活動分野 (当てはまるもの全て)	主な活動分野 (1つ)
1：保健、医療又は福祉の増進を図る活動		
2：社会教育の推進を図る活動		
3：まちづくりの推進を図る活動		
4：観光の振興を図る活動		
5：農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動		
6：学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動		
7：環境の保全を図る活動		
8：災害救援活動		
9：地域安全活動		
10：人権の擁護又は平和の推進を図る活動		
11：国際協力の活動		
12：男女共同参画社会の形成の促進を図る活動		
13：子どもの健全育成を図る活動		
14：情報化社会の発展を図る活動		
15：科学技術の振興を図る活動		
16：経済活動の活性化を図る活動		
17：職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動		
18：消費者の保護を図る活動		
19：前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動		
20：前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動		

《主たる活動内容》

Q1-2. 貴団体が行っている主たる活動において、最も活動時間を割いている活動について、具体的にどのような活動を行っているか、下記の枠内にご記入ください。

(記入例) 子ども食堂の運営、引きこもり者の支援、スポーツ教室の運営など

《事業活動に携わるボランティア数》

Q2-1. 前事業年度（もしくは昨年度）において、貴団体の事業活動に携わったボランティアの（１）延べ人数（２）活動日数を選んで○をつけてください。（いない場合、実施日数がない場合は０を選んでください。）

- ※1. 現場でボランティア活動をしている方を把握するため、管理、運営、総務、庶務等に係るものは除きます。
※2. 延べ人数は、「参加者数×参加者の活動日数」で計算してください。同一人物が３日活動した場合、「３人」として下さい。
※3. 活動日数は、前事業年度でボランティアの参加実績のある日数をご記入下さい。（最大 365 日）。１時間でも活動した場合は１日としてカウントしてください。

（１）延べ人数

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 0 人 | 6. 100～199 人 |
| 2. 1～9 人 | 7. 200～499 人 |
| 3. 10～29 人 | 8. 500～999 人 |
| 4. 30～49 人 | 9. 1000 人以上 |
| 5. 50～99 人 | |

（２）活動日数

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 0 日 | 5. 50～99 日 |
| 2. 1～9 日 | 6. 100～199 日 |
| 3. 10～29 日 | 7. 200 日以上 |
| 4. 30～49 日 | |

《ボランティアに対する還元の有無》

Q2-2. 貴団体の活動において、ボランティア活動に参加していただいた参加者に対して還元する制度はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. ボランティア参加者の食事・交通費・滞在費いずれかの支給（現金）を行っている
2. ボランティア参加者に食事等・交通手段・宿泊施設・物品・（活動用品、記念品等）いずれかの提供を行っている
3. 謝礼として現金を支給している
4. 謝礼としてクーポン・施設入場券・商品券等の有価性のあるものを支給している
5. 各自治体と連携して地域などで使用できるポイントを付与している
6. 現金や謝礼の支給はしていない
7. その他（ ）

《団体が抱える課題》

Q3-1. 貴団体が安定的な経営を行うに当たっての当面の課題は、どのようなものであると思いますか。特に重視するものを最大3つまで選んで○をつけてください。

1. 後継者の不足
2. 人材の確保や教育
3. 収入源の多様化
4. 事業規模の拡充
5. 外部の人脈・ネットワークの拡大
6. 法人の事業運営力の向上
7. 一般向け広報の充実
8. 関係者への活動結果の報告
9. 会計情報の開示
10. その他（ ）

《外部との連携》

Q4-1. 貴団体が活動を行っていく上で今後、行政・企業・大学等との連携方法として考えていることについて、現在実施しているものを含めて当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 行政・企業・大学等との共同事業・共同活動・共同開発
2. 企業・大学等からの出向等を通じた人事交流
3. 企業・大学等の社員のプロボノ等(※)による技術支援
4. 企業・大学等からの寄付の受入れ
5. 企業・大学等からの助成金の申請・受入れ
6. 企業・大学等の設備や機械機器の活用
7. その他
(具体的にお書きください：)
8. 行政・企業・大学等との連携は期待していない
9. 行政・企業・大学等との連携は必要ない
(理由を具体的にお書きください：)

※1. プロボノとは、各分野の専門家が、職業上持っているスキルや知識、経験を活かして、社会的・公共的な目的のために行うボランティア活動のこと。

《外部との連携の分野》

Q4-2. 貴団体が行政・企業・大学等との連携やプロボノの受入で強化したい分野はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. IT
2. 宣伝・広報
3. マーケティング
4. 法務
5. 会計・経理
6. 人事
7. 組織運営・ガバナンス
8. その他(具体的にお書きください:)
9. 企業・大学等との連携は必要と考えていない
(理由を具体的にお書きください:)

《主たる収入源》

Q5-1. 貴団体が行っている主たる活動において、主な収入源として最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 会費（年会費、賛助会費など）
2. 個人や民間（企業）からの寄付金
3. 個人や民間（企業）からの助成金・補助金
4. 行政からの助成金・補助金
5. 利用者からの料金収入（物販等を含む）
6. 行政からの委託、または指定管理者としての業務
7. 企業からの委託
8. その他（具体的にお書きください:)

《予算規模》

Q5-2. 貴団体の前事業年度の予算規模（年間収入）において、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 0 円 | 5. 500 万円超～1,000 万円以下 |
| 2. 0 円超～10 万円以下 | 6. 1,000 万円超～5,000 万円以下 |
| 3. 10 万円超～100 万円以下 | 7. 5,000 万円超～1 億円以下 |
| 4. 100 万円超～500 万円以下 | 8. 1 億円超 |

《会員別の明細》

Q6-1. 貴団体における会員の種類ごとに、(1) 個人会員と (2) 団体会員に分け、前事業年度におけるそれぞれの人数・団体数と会費収入（年間）をご記入ください。

会員の種類	(1) 個人会員		(2) 団体会員	
	人数	会費収入	人数	会費収入
1. 正会員（総会で議決権を持つ会員）	人	円	団体	円
2. 正会員以外（総会で議決権を持たない会員）	人	円	団体	円

《役職員の実人数》

Q6-2. 貴団体の前事業年度（※1）における役員（理事・監事）、および役員以外の実人数（※2）をご記入ください。また、そのうち「有給役職員」の人数をご記入ください。さらに「有給役職員」のうち「常勤（※3）有給役職員」の人数をご記入ください。

項目	(1) 役員	(2) 職員
実人数	人	人
うち、役員報酬を得る役員（もしくは有給職員）	人	人
うち、常勤の役員報酬を得る役員（もしくは常勤の有給職員）	人	人

※1. 設立後最初の事業年度末が到来していない場合は、回答日現在までの状況をご記入ください。

※2. 管理、運営、総務、庶務等に携わる無給職員も含めた実人数（延べ人数ではありません）をご記入ください。

※3. 「常勤」とは、週 28 時間以上勤務している人としてします。

《寄付への取組み》

Q7-1. 貴団体が個人や法人からの寄付を集めるために現在取り組んでおられるものについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 寄付の受入状況とその活用などに関する資料の作成・公表
2. ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用した情報発信
3. クラウドファンディングの活用
4. インターネットを活用した寄付の募集（クリック募金、ツイッター募金、ヤフーネット募金、ソフトバンクかざして募金等、上記3、は除く）
5. 寄付呼びかけのための広告掲載、（紙媒体、インターネットによるもの含む）
6. 寄付集めも含めた資金調達の専門家の育成・活用
7. 企業、行政、教育機関、中間支援団体等の外部組織との連携
8. イベント実施等による対面での寄付呼びかけ
9. ふるさと納税制度の活用
10. その他（具体的にお書きください： _____）
11. 特に取り組んでいることはない

《寄付へのお礼》

Q7-2. 貴団体で行っている寄付者に対するお礼について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. お礼状や活動報告、無料の会報などを渡している
2. 特定非営利活動に係る事業の一環で作成した「手芸品」などを渡している
3. ふるさと納税制度を活用した際に特産品を渡している
4. 上記1～3以外のものを渡している
（具体的なものをお書きください： _____）
5. 特に何もしていない

《デジタル・オンラインツールの使用状況》

Q8-1. 貴団体において、活動や業務で日常的に使用しているツールについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 支援を必要としている人に対して支援・サービスの提供などの特定非営利活動をオンラインで行っている
2. 事務連絡等について電子メール、コミュニケーションアプリ（LINE 等）を利用している
3. 書類作成において文書作成ソフトや表計算ソフトを使用している（クラウドサービスを含む）
4. 会計・経理事務等において会計ソフトやアプリを使用している（クラウドサービスを含む）
5. ホームページやブログを開設し、貴法人の活動内容について情報発信している
6. ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で貴法人の活動内容について情報発信している
7. ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を通じて他法人の活動内容を入手している
8. 上記のいずれも使用していない

《使用している会計ソフト等》

Q9-1. 貴団体で使用している会計ソフト等について、当てはまるもの 1 つ に○をつけてください。

1. 会計ソフト（クラウド型）
2. 会計ソフト（インストール型）
3. 会計ソフトは使わずに、エクセルなどの表計算ソフトを使っている
4. その他

（具体的にお書きください： _____ ）

《あすみに求める役割》

Q10-1. あすみに求める役割について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談
2. スペース（ミーティングコーナー）の提供
3. 貸室（セミナールーム・会議室）の提供
4. 機材（パソコン・印刷機）の提供
5. 情報の提供
6. 広報の協力
7. 各種講座の開催
8. オンライン講座の開催
9. 他団体との交流
10. 企業とのマッチング
11. 行政機関の紹介
12. その他

（具体的にお書きください：

）

《あすみんで利用した事業》

Q10-2. あすみが実施している講座・相談等の事業のうち、利用したことがあるものについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. NPO 入門講座 | 10. 資金調達相談 |
| 2. ボランティア講座 | 11. あすみん交流会 |
| 3. NPO 基盤強化講座
（ステップアップセミナー） | 12. 新規登録団体交流会 |
| 4. NPO 広報講座 | 13. グッドアクティビティフェスティバル |
| 5. NPO 法人の設立説明会 | 14. 先輩 NPO に聞いてみよう |
| 6. 災害ボランティア講座 | 15. あすみんステージ |
| 7. 市民活動相談（NPO なんでも相談） | 16. あすみんミュージアム |
| 8. 会計・税務個別相談 | 17. SDGs 勉強会 |
| 9. 労務管理個別相談 | 18. 学生ボランティアミーティング |

《あすみの情報収集ツール》

Q10-3. あすみが提供している情報ツールのうち「情報収集の手段」として利用しているツールについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. あすみんホームページ
2. あすみんメールマガジン
3. あすみん Facebook
4. あすみん X (旧 Twitter)
5. あすみん Instagram
6. asumin note (note)
7. 情報コーナー (チラシ、図書など)

《あすみの広報ツール》

Q10-4. あすみが提供している情報ツールのうち「広報の手段」として利用しているツールについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. あすみんホームページへの情報掲載
(マイページを活用したイベント・ボランティア情報の発信)
2. あすみんメールマガジンへの情報掲載
3. チラシ・パンフレットの掲示・配架
4. ハジメのイッポ
5. ハローソーシャル

設問は以上です。多くの設問にご回答いただきありがとうございました。

<登録団体アンケートに関するお問合せ>

福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」(担当：奥村)

〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス 4 階

TEL：092-724-4801 FAX：092-724-4901 メール：info@fnvc.jp